



教育ひのいで

令和6年3月1日発行
第159号

発行 日の出町教育委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780
年3回発行(7.11.3月)
電話 042-588-5427



日の出町の教育、学校と共に創り、 子どもたちの学びや成長を支えるために！

日の出町教育委員会では、昨年度、「日の出町教育ビジョン2023」を策定し「かかわりとつながり」や「協働」を大切にして、「子どものしあわせづくりとまちの魅力を生かした学校づくり」「家庭・地域・学校のつながりを重視した取組」を目指すこととしました。

今回は、教育の重要な担い手として学校とともに日々の子どもたちの学びや成長を支えていただいている多くの方々の中から、3人の方にご協力いただき、それぞれの活動の内容や役割、学校の教育活動や子どもたちの学びや成長に対する思いをお聞かせいただきました。

地域学校協働活動
統括コーディネーター
清水 裕一さん

地域学校協働活動とは

地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

地域学校協働活動にかかわり始めたきっかけは何ですか？

地域学校協働活動にかかわる前は、中学校で社会科の教員をしていました。

日の出の豊かな自然や伝統文化など、町の魅力を授業に取り入れていく経験を通して、何か私にできることがあればと思ったことがきっかけです。

どのようなお仕事をされているのですか？

統括コーディネーターとして、他の学校の地域コーディネーターの方々との連絡調整、様々な情報提供などを行っています。統括コーディネーターとして、各学校の地域学校協働活動の取組を把握することを大事にしています。その上で、各学校のニーズに合った地域人材の紹介ができるように努めています。

学校と地域の架け橋として大事にしていることは何ですか？

日の出町には5校の小中学校があり、それぞれの学校が、保護者や地域の方々と連携した特色ある教育活動を行っています。その特色に応じた人材をタイムリーに紹介し、各学校の地域学校協働活動が充実するようにしています。

今後の学校と地域の連携協働についてのお考えをお聞かせください。

日の出町にもコミュニティ・スクールが設置されることにより、今まで以上に、地域学校協働活動が活発になり、学校の教育活動が充実するのではないかと考えています。学校と地域がかかわりを深め、社会総がかりで子どもたちの学びや成長を支えていくことができる地域づくり、学校づくりのために力を尽くしていきたいと考えています。



スマイルルーム（校内別室指導支援）
支援員 松岡 悠さん

校内別室指導支援事業とは

不登校及び不登校傾向の児童・生徒の教室以外の居場所において不登校児童・生徒一人一人の状況に応じた支援を行う取組。

校内別室指導支援員となって子どもたちの登校支援にかかわることになった経緯を教えてください。

大久野中学校で学習支援員として、中学生の学習のサポートをしている私の母から、登校支援員を募集していると話を聞いたのがきっかけです。私自身も、日々、日の出町の学校、子どもたちのために何かできることがあればと考えて、教育委員会の人材バンクに登録していたところでした。



校内別室指導支援員はどのようなサポートをするのですか？

スマイルルームに来てくれる生徒によって違ってきます。悩み事があつて話を聞いてほしい生徒もいれば、一人で黙々と自習をする生徒もいれば、それぞれです。私は、大人として答えを教えるのではなく、対話を通して一緒に考え、その子なりに自分自身で解決策に辿り着くように寄り添うようにしています。

どのような時に支援員としてのやりがいを感じますか？

困りごとや悩みを相談しに来てくれた生徒が、私との対話の中で解決策を見つけたり、気持ちを整理し納得ができたりして、表情が明るく笑顔になった時にやりがいを感じます。

子どもたちとかかわる時に大切にされていることは何ですか？

生徒の話を聞いて、「それ、違うよ。」などと否定しないこと。人は、誰でも、自分の考えや思いを認めてほしいものですし、それは、大人も子どもも同じだと思います。とにかく、生徒の気持ちを受け止めることを大切にしています。そのことが心の安心・安定につながり、生徒は前向きになっていくのではないかと思っています。

放課後補習教室（地域未来塾）
支援員 門井 美奈さん

放課後補習教室（地域未来塾）とは

放課後の補習を希望する児童・生徒を対象に、「学習習慣の確立」「基礎学力の定着」を目指し、地域住民等の協力により学習支援を行う補習教室。

放課後補習教室（地域未来塾）支援員はどのような役割の仕事ですか？

未来塾を利用する子どもたちの宿題のサポートをしたり、音読を聞いてあげたり、興味関心に応じた本を紹介したりしています。未来塾の支援員の他に、図書ボランティアや学習支援員としても平井小学校の教育活動にかかわっています。



学習の支援の時に大事にしていることは何ですか？

子どもたちからの質問に、ひとつひとつ丁寧に答えるようにしています。その時は初めから答えを教えるのではなく、どこが分からぬのかを聞いたり、解決のヒントを出したりしながら、子どもたちが考える手助けをしています。また、できたことを励まし、頑張ったことを認めてあげることを心掛けています。

子どもたちに向き合う時に大切にしていることはどのようなことですか？

子どもたちが安心できるように、子どもたちと目線を合わせることを心掛けています。また、子どもたちとの距離感にも気を配っています。活動を見守りながら、必要な時に声をかけたり、手助けをしたりしています。

これからの学校づくりに対するサポートについてお話を聞かせください。

子どもたちにとって学校が居心地のいい居場所になるように、学校の先生方だけでなく、保護者も地域の方々ともいっしょになって子どもたちの成長を支え、楽しい学校生活、楽しい思い出作りができるようにサポートをしていきたいと考えています。

～誰もが町の教育の重要な担い手として～

紹介した方以外にも、多くの方々に学校の教育活動にご協力いただいている
ます。

その他の取組については、日の出町教育委員会ホームページ「共に学び
支え合いみんなで創る日の出町の教育」でご覧いただけます。



教育委員会
二次元コード

子どもたちの今のしあわせ未来のしあわせのために ～誰一人として取り残さないための多様な学びの保障に向けた登校支援～

誰でも不登校になることがあります。不登校は悪いことではありません。不登校の子どもが自分で決めた目標に向かえるよう、不登校の子どもの状況に合わせて、子どもにかかわる大人が協力し、一人一人の子どもの学びや成長を支える必要があります。

参考：「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」

日の出町教育委員会、日の出町立学校では、一人一人の多様なウェルビーイングを実現するためには、誰一人取り残さず、相互に多様性を尊重し、他者のウェルビーイングを思いやることができる教育環境を、学校をはじめとする教育機関の日常の教育活動に取り入れ、全ての子どもの可能性を引き出し、自らの夢や希望の実現に向けて、学びに向かうことができるようにしていきます。

日の出町における不登校対策の考え方

【段階的登校支援（支援のグラデーション）】

一次支援

二次支援

三次支援

児童・生徒の登校状況を把握し、継続的な不登校状態になることを未然に防止する。

指導室と学校が、児童・生徒の登校状況について共通理解するとともに支援の状況を確認する。

「登校渋り」、「不登校傾向」といわれる不登校の初期段階にある児童・生徒が継続的な不登校状態になることを防止する。

教室以外の児童・生徒の居場所と支援人材を確保する。

継続的な不登校状態になった児童・生徒へ教育相談、自立支援を行い、登校につなげる。

学校以外の居場所の確保と個々の児童・生徒の状況に応じた教育相談、適応支援活動を実施する。

一次支援は、指導室と学校が、児童・生徒の登校状況について共通理解するとともに支援の状況を確認し、校内委員会と連携し、不登校状態になることを未然に防止する取組を行う段階です。

二次支援は、教室以外の児童・生徒の居場所の設置と支援人材の配置により、「登校渋り」、「不登校傾向」といわれる不登校の初期段階にある児童・生徒が継続的な不登校状態になることを防止する取組を行う段階です。

三次支援は、学校以外の居場所の確保と個々の児童・生徒の状況に応じた相談、適応支援活動により、継続的な不登校状態になった児童・生徒へ教育相談、自立支援、学びの機会の保障の取組を行う段階です。

なお、この支援の段階は、不登校の要因や背景が複雑化・多様化していることから、一定方向に進むとは限らず行き来したり、支援の進捗や効果には濃淡が生じることもあるため、個々の児童・生徒の状況に応じて丁寧な支援を行っています。

学

校

スナップ

平井小学校



平井小学校
ブロ
二次元コード

日の出幼稚園、さくらぎ保育園、宝光保育園、さくらぎこばんの四つの園から年長さんを迎えて、就学前学校体験授業（もうすぐ1年生）を行いました。活動の流れは、①はじめの会②学校探検③おべんきょうタイム④あそびタイム⑤終わりの会の順番でした。1年生が優しく勉強を教えたり、一緒に遊んだりしました。年長さんの隣に並ぶ1年生は、お兄さんお姉さんの顔をして、いつも以上に張り切っていました。自己紹介をしたり、学校を案内したり、鉛筆の持ち方を教えたり、時に「トイレ大丈夫？」と声を掛け

てたり、「上手だね。」「すごいね。」と褒めてあげたりして、平井小の先輩として立派な姿を見せていました。

年長さんも、1年生と一緒に勉強をしたり、遊んだりするのを楽しんでいるように見えました。最後に年長さんに感想尋ねると「楽しかった。」という声

した。

この体験が1年生の上級生としての自覚と人に優しく接したいという心の成長を促してくれたことが伝わってきました。

◆平井小ブログを上の二次元コードからご覧いただけます。児童の学校での様子を更新しています。ぜひご覧ください。



大久野小学校

初めに、校長から大久野小学校の児童を交通事故や犯罪から守るために、登下校を見守つてくださっていることについて話があり、その後、全校児童を代表して、六年生の代表委員が感謝状を贈呈しました。

一月二十三日（火）に、代表委員会の児童が中心となって準備を進め、体育館にて通学安全ボランティア「まちかど防犯パトロール」の方々に対する「感謝の会」を行いました。



最後は全校児童で拍手による送り出しを行い、お世話になっている地域の方々に感謝の気持ちをお伝えすることができます

自分たちが見守られ、支えられて生活していることに改めて気付く、よい機会となりました。

お別れの時は、1年生が向かい合わせに並び、その間を年長さんに通つてもらいました。年長さんは「トイレ大丈夫？」と声を掛け

本宿小学校



本宿小学校
ホームページ
二次元コード

外部講師・地域とのつながりを活用した授業

3学期だけでも多くの外部講師の方や地域の方にご来校いただきました。

5年生を対象とした「日本舞踊教室」、6年生を対象とした「薬物乱用防止教室」、来年度1年生になる地域の幼稚園・保育園の園児と1年生が交流する「もうすぐ1年生」、4・5・6年生を対象としたイラストレーターのJun Kawaiさんによる「LGBTQに関する特別授業」、全学年を対象とした「サッカー教室」など、日頃の授業の中だけでは体験できない活動や講話を通して、子供たちは視野を広げ、楽しみながら文化やスポーツ等に触れ学習することができました。

今後も、様々な分野の外部講師の方や地域の方のお力を借りながら、子供たちの成長につながる授業を行っていきます。



平井中学校

1学年 スキー教室

1月24日から2泊3日の行程で移動教室が行われました。目的地である岩原スキー場に向かう道中、雪による影響で1時間ほど到着が遅れましたが、それ以外は大きなトラブルに見舞われることなく初雪で、宿泊行事を終えることがで

1学年「ふるさと地域調査」
自分たちの生活している地域の美を探す」というテーマのもと、12月8日にふるさと地域調査が行われました。入念な計画・準備のもと当日を向かえ、日の出町や周辺地域において班ごとに調べ学習を行いました。身近な場所でも実際には脚を運んでみると、新たな発見があり、改めて地域の良さを再確認することができました。この行動での経験が、2年校外学習、3年修学旅行に繋がっていきます。

2学年 横浜校外学習

1月31日には2学年の校外学習が行われました。晴天に恵まれ、横浜散策には絶好の天気となりました。日本と世界の文化を知ることで、日本と世界の文化を知ることで、限られた範囲ではありますが様々な文化に触れ、「百聞は一見に如かず」を実践することができます。公共の交通機関や徒歩で移動していることもあり、予定通りにいかない部分もありましたが、班員がお互いに協力することで課題を解決する姿は、2年生としての頼もしさを感じることができました。



大久野中学校

2年生スキー教室 1月14日(日)～16日(火)

2年生が岩原スキー場へ行きました。1日目はバスで関越トンネルを抜けると一面の雪景色、快晴で絶好のコンディションのもとスキー実習がスタートしました。2日目、3日目と雪模様、様々な姿を見せる雪山で、新雪のパウダースノーやゲレンデでインストラクターの先生に教えてもらいながらスキーを楽しみました。他にも1日目に雪灯籠づくりや2日目の宿舎での実行委員会によるレクチャ大会と、楽しい思い出満載の3日間になりました。最終日には

雪の影響で、帰りの関越自動車道が一時通行止めと思われぬアクシ

デントもありました

が、1時間半の遅れで無事大久野に戻ること

ができました。

スキー実習や宿舎での生活で集団行動の大切さを学び、学年とともに一回り大きくなり成長した2年生、来年度の修学旅行も楽



花ボランティア

昇降口に花のプランターが置かれています。これは日の出町地域学校協働活動推進事業（日の出町学校支援ボランティア事業）の一環で、花ボランティアの皆さんのご協力による活動です。これから春を迎えると、校庭のあちらこちらに咲く花の姿が更に見られるようになります。そこで今から楽しみです。



しみです。

1月24日から2泊3日の行程で移動教室が行われました。目的地である岩原スキー場に向かう道中、雪による影響で1時間ほど到着が遅れましたが、それ以外は大きなトラブルに見舞われることなく初雪で、宿泊行事を終えることがで

1学年「スキー移動教室」
自分たちの生活している地域の美を探す」というテーマのもと、12月8日にふるさと地域調査が行われました。入念な計画・準備のもと当日を向かえ、日の出町や周辺地域において班ごとに調べ学習を行いました。身近な場所でも実際には脚を運んでみると、新たな発見があり、改めて地域の良さを再確認することができました。この行動での経験が、2年校外学習、3年修学旅行に繋がっていきます。

1月31日には2学年の校外学習が行われました。晴天に恵まれ、横浜散策には絶好の天気となりました。日本と世界の文化を知ることで、限られた範囲ではありますが様々な文化に触れ、「百聞は一見に如かず」を実践することができます。公共の交通機関や徒歩で移動していることもあり、予定通りにいかない部分もありましたが、班員がお互いに協力することで課題を解決する姿は、2年生としての頼もしさを感じることができました。

部活 ガンバッテマス!

大久野中学校

陸上部

は、3年生9名（現在は引退）、2年生5名、1年生14名の計19名で活動しています。活動内容は前期と後期に分けられており、前期は短距離、中距離、長距離、そして走り幅跳など、自分の記録を伸ばしていきたい種目に分かれて、各大会に向け、各々練習を重ねて大会に挑戦しています。後期は種目に分かれず、長距離を中心に活動し、仲間たち全員で助け合い練習に励んでいます。



平井中学校

ソフトテニス部

1年生9人、2年生9人、3年生11人で活動しています。小學生からソフトテニスを始めた部員もいれば、中学生になつて初めてラケットを握った部員も多くいます、が、初心者、経験者関係なくみんなで切磋琢磨しています。活動目的は「ソフトテニスを通して、仲間づくりをする」「練習や試合を通して、部活動を自主的に運営する力や精神的な強さを身につける」「礼節、社会のルール、マナーを身につける」です。一生懸命になるのは楽しい！ソフトテニスを通して本気で物事に取り組む経験、平井中でしませんか？平井中学校でお待ちしています。



大久野中学校

野球部

大久野中の野球部は現在、2年生が4名、1年生が9名の計13名で活動しています。7月からは新チームとなり、日々練習に励んでいます。現在所属している部員のほとんどが入部した時は初心者でしたが、練習を積み重ねてきたことで、少しずつ実力をつけてきます。投げる、打つ、守る、走る、の一つ一つの動きを大切にし、一球入魂の精神で活動に取り組んでいきます。声を出し合って、団結して明るい雰囲気を作り、一日一日を大切にしています。



平井中学校

美術部

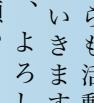
毎週、月曜日と金曜日に活動しています。本年度は、1年生8名が入部し、合計38名所属しています。今年もグランド後方にある斜面いっぱいに、制作した大きな絵を掲げ、運動会を盛り上げました。学校行事の立て看板やスローガン制作の他に、季節の装飾品も、季節の装飾品を手掛けています。

巨大リースやツリーは、材料の松ぼっくりや薺などを自分たちで採りに行き、段ボールや発泡スチロールなどの廃材を使つて制作しました。





切り絵やポスター類などの個人作品も創作しています。学校生
活を明るくす
るためにこれ
からも活動し
ていきますの
で、よろしく
お願ひします。



あんぱいと いんぱいと



館内の探索

昨年10月31日に大久野小学校3年生、11月15、29日に本宿小学校2年生、12月7、8日に平井小学校2年生が図書館見学に来てくださいました。

班ごとに図書館の使い方や館内でのマナーなどを説明し、子どもたちから質問に答えました。以前、図書館の本が切り取られてしまつた話を現物の本を見せながら行い、図書館の本は大切に読んでほしいと伝えました。

また、昨年度からICタグによる蔵書管理が始まり、新しく導入された自動（セルフ）貸出機や、図書館入り口のICゲートの紹介をしました。貸出処理をしていない本が持ち出されると、ゲートでメッセージが流れ、カウン



ブラックライトシアターの様子

「冬のおはなし会」を開催しました！

12月14日（木）幼児・16日（土）児童を対象に「冬のお楽しみ☆おはなし会」を開催しました。

当日は、ペーパーサート、マジックショリー、わくわくシアターなど、いつもとは違うおはなし会で盛り上がりました。

数か月前より企画を練つて、プログラミングを用いたパネルシアター、ロールシアターもおこない大人も子ども



本の福袋・本のおみくじの様子

おみくじは子ども向けで、おみくじの箱から引いた紙に書いてある番号と対応した袋を貸し出し、こちらも借りてみるまで中身が分からぬおたのしみ企画としました。

どちらも大人気で利用された方からは、「いつもは選ばない本が入つていて、読んでみたら予想外に面白かつた。」「楽しくていい本だった。」などとの感想をいただきました。新しい本と出会う機会になつていれば幸いです。

ターのパソコンに本のデータが表示されるしくみに、みな感心していました。これを機会に、図書館をもつと利用してくれることをスタッフ一同願っています。

新年 本の福袋・本のおみくじを開催しました。

もも笑顔に包まれた、とても楽しい会になりました。



給食センターでは毎年、卒業を迎える学年（小学校6年生・中学校3年生）を対象に「思い出献立アンケート」をとり、給食の思い出を聞くと共に、人気の献立を3月にもう一度提供するという取り組みを行っています。

給食の思い出には「落ちこんだときには給食を食べていつも元気をもらっています。いつもおいしい給食ありがとうございます。」「野菜が苦手だったけど、学校の給食のおかげで野菜が少し好きになつた。」「皆と好きな献立を話したり、給食当番の人同士で協力したり、美味しい給食を食べながら友達と一緒に会話をしたりするのがとても楽しく、沢山の思い出があります。」などの嬉しいコメントが寄せられました。

アンケートの結果、全部で417票の投票があり、思い出献立として出るのは、1位、2位の票を獲得した写真

思い出献立アンケートを
実施しました！

令和6年 日の出町 二十歳を祝う会について

去る、1月8日（月・祝）イオンモール日の出イオンホールで、日の出町二十歳を祝う会が開催され、114名の二十歳の若人が参加されました。

今年は大久野地区・平井地区・亜細亜大学合宿所が一同に集い式典を開催しました。また、イオンモール駐車場では「青春号を活用した町興し隊」の皆様が機関車バスとの無料撮影会を実施し、式典後もにぎやかな様子でした。

二十歳の皆さんは数々の苦労や困難を経験されたかと思われますが、多くの方に支えられてこの日が迎えられた感謝の気持ちを大切に、明るい明日に向かって前進してください。

日の出町の将来を担う皆さん、限りないご多幸とご活躍を心よりお祈りしております。

なお、式典にお越しいただけなかった方々につきましても日の出町ホームページに二十歳を代表して披露いただきました誓いの言葉を掲載しておりますので、是非ご覧ください。



二十歳を祝う会
二次元コード



日の出町教育委員会表彰式

教育委員会では、永年教育行政にご尽力いただきました方々に対して、昨年11月26日、役場第1、2会議室において、表彰状の伝達式を執り行いました。

受賞された皆様におかれましては、長年ご尽力を賜り誠にありがとうございました。今後も、教育行政にお力添えを賜りますようお願いいたします。

表彰された方々をご紹介いたします。



氏名(敬称略) 主要経歴・役職名

佐々木 教裕 日の出町スポーツ推進委員

横田 浩嗣 日の出町スポーツ推進委員

平山 秀明 日の出町立平井小学校 地域支援コーディネーター

「令和5年度 東京都小学生科学展」 優秀賞に入賞

大久野小学校第6学年堤千咲さん、内藤めいこさんが、夏休みの自由研究をもとにまとめた「一番美味しい乳酸飲料を作ろう!?」が東京都小学生科学展に、日の出町の代表として選ばれ、優秀賞に入賞されました。

3月15日(金)まで、役場1階エントランスホールに作品を展示しますので、ぜひご覧ください。

